

頑張るこの人!
教えたい!!

大須発祥の楽器 大正琴を子どもたちにも

倉知 弦洲さん
(本名 進さん)

琴伝流最高位の永世大師範で弦洲会会主の倉知さんは、「牧すすむ」の別名で作詞作曲家としても活躍しています。

20代から作曲家として活動。小牧小学校の運動会で必ず踊る「三本松音頭」、小牧市民まつり賛歌「青春の街」(唄チエリッシュ)のほか、歌手の都はるみさんや大川栄策さんに楽曲を提供しています。新曲は「能登の明かり」で丘ゆづりさんが歌っています。



影響を受けて慣れていたそう。各地の教室に派遣され、県内は元より岐阜県や三重県と毎日、忙しく飛び回っていたといいます。そのため子どもと顔を合わせることも少なく「行事とかに行けなくて悪いことをしたな。もっと遊んでやりたかった」と苦笑い。

コロナ禍前は、海外公演も行って、カーネギーホールやオペラハウスなど、20カ国以上の国で演奏をした経験も。「特にカーネギーホールで息子と2人で演奏した時は、会場中を大正琴一つで魅了できてすごく良かった」と目を細めます。また英国BBCラジオからのオフアード、生放送番組の中でソロ演奏をして大好評だったこともあります。

「大正琴は大須が発祥で、唯一日本人の手で造られた楽器なんです。タイプライターのキーと和琴を組み合わせた楽器で、誰でも簡単に弾けるんです」と話し、今後について「日本の楽器としての知識を子どもの頃から学校教育に積極的に取り入れて、触れる機会を多くしてもらえたらうれしいですね」とほほ笑みます。

問い合わせ 倉知さん

☎090-6092-0104

